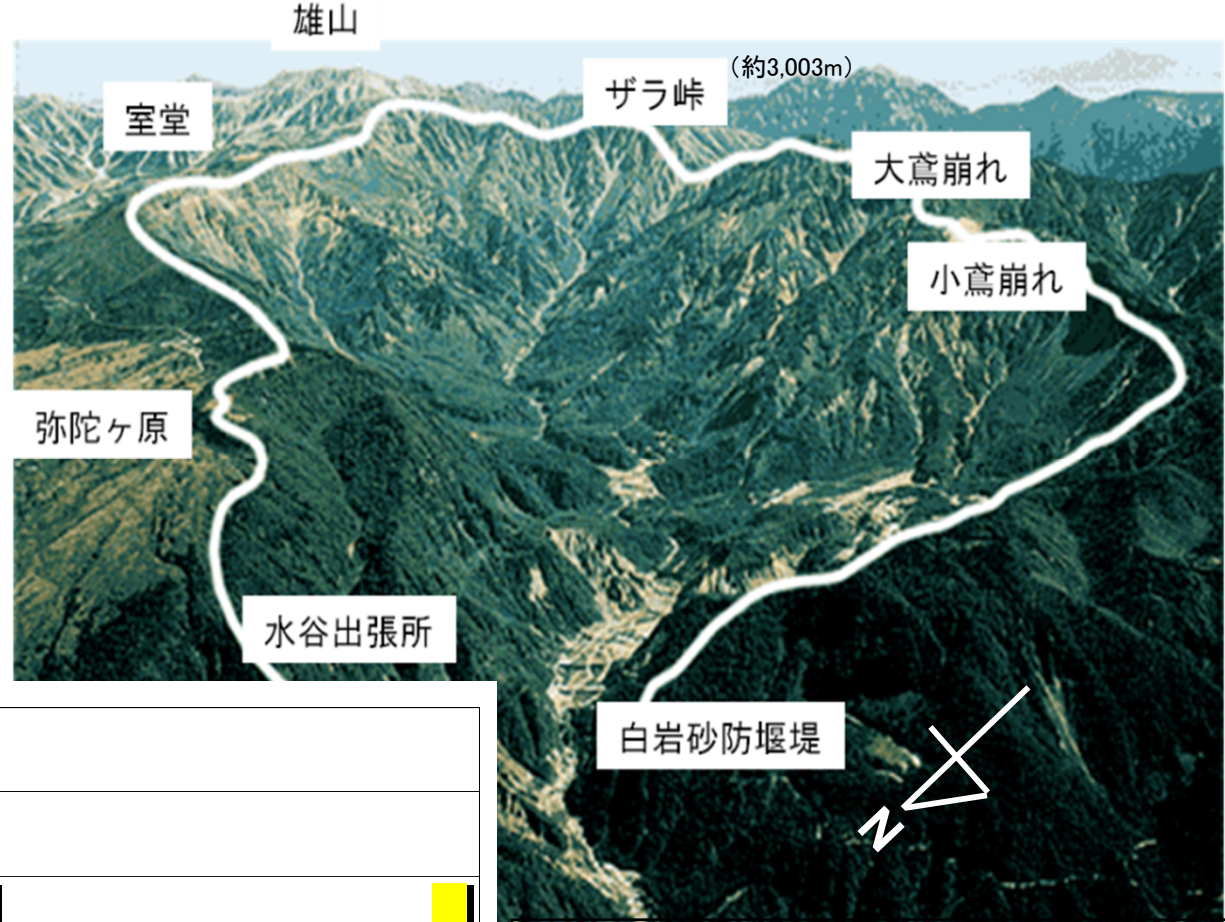
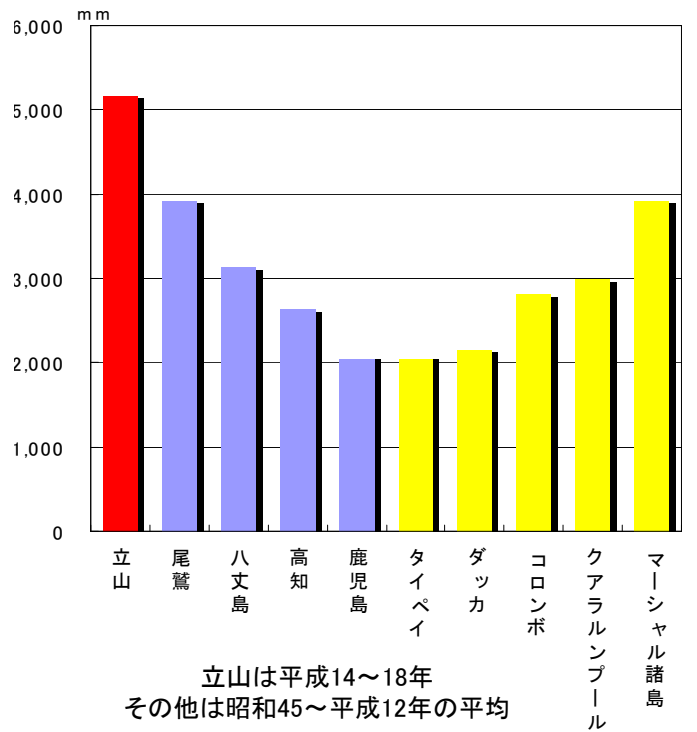
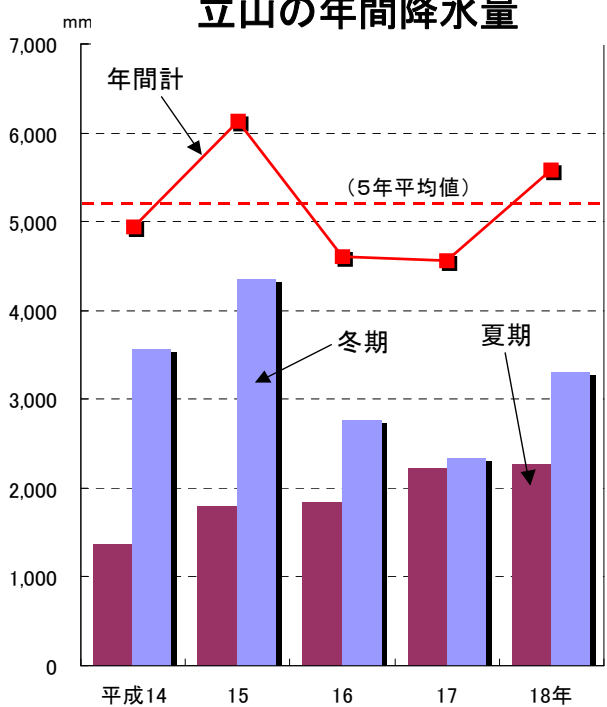


プロジェクト12 カルデラ体験学習会の旅行商品化について



立山カルデラとは・・・
 弥陀ヶ原火山などが大雨などの侵食を受けて
 形成された東西6.5km、南北4.5kmの
 楕円形の巨大な窪地



土砂が流出しやすい条件が重なる類を見ない過酷な自然環境

- 多雨・多雪 (年間降水量5,000mm)
- 急流河川 (平均河床勾配1/30)
- 脆弱な地質 (火山噴出物)
- 膨大な崩壊土砂 (鳶泥: 推定2億m³)
- 断層の存在 (跡津川断層)

富山地方気象台・立山カルデラ砂防博物館調べ

プロジェクト12 カルデラ体験学習会の旅行商品化について

<現状の整理>

企画主催: 富山県・(公財)立山カルデラ砂防博物館(協力: 国土交通省立山砂防事務所)
 旅行主催: 中部観光株式会社(毎年入札により選定。)※法令上は既に旅行商品として実施
 年間定員: 1,920名(平成29年度)
 趣 旨: 土砂災害防止に関する防災教育の一環として実施



トロッココース	バスコース	バスコース(文化遺産巡り)	バスコース(常願寺川流域)
1班 ①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨-⑩-⑪	①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨-⑩-⑪	①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨-⑩-⑪	富山駅北口-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨-⑩-常西合口用水-佐々場・殿様林-大場の大転石-延命地藏-富山駅北口
2班 ①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨-⑩-⑪	①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨-⑩-⑪	①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨-⑩-⑪	

—バス —トロッコ —徒歩

(出所)
 富山県立山
 カルデラ砂防博物館HP

プロジェクト12 カルデラ体験学習会の旅行商品化について

<コース別の詳細>

コース名	実施日 (H29)	定員	参加費	見学する主なスポット				
				白岩砂防堰堤	六九谷展望台	跡津川断層	多枝原展望台	本宮砂防堰堤
トロッコ個人コース	7月～10月の 水曜日 (計15日)	各40名(抽選) 〔一部日程 は80名〕	大人 2,000円 小学生 1,000円	○	○		○	
トロッコ団体コース	7月～10月の 木曜日 (計15日)	各2団体(先着) 〔1団体は 10～20名〕	無料 〔バスの手配料、 有峰林道通行料 (4,400円)は応募 団体に負担〕	○	○		○	
バスコース	7月、9月の 金曜日 (計5日間)	各40名(先着)	大人 2,000円 小学生 1,000円	○	○	○	○	
バスコース (文化遺産巡りコース)	7月～10月の 金曜日 (計6日間)	各40名(先着)	大人 2,000円 小学生 1,000円	○	○		○	○
バスコース (常願寺川流域コース)	7月、10月の 金曜日 (計3日間)	各40名(先着)	大人 2,000円 小学生 1,000円	○	○			○

プロジェクト12 カルデラ体験学習会の旅行商品化について

<過去3年間の体験学習会の応募状況>

コース名	過去3か年 平均倍率	H28			H27			H26		
		定員	応募者 総数	平均 倍率	定員	応募者 総数	平均 倍率	定員	応募者 総数	平均 倍率
トロッコ個人コース	3.35倍	800名	2,685名	3.36倍	680名	2,181名	3.21倍	640名	2,243名	3.50倍
トロッコ団体コース	0.92倍 ※	560名	545名	0.97倍	520名	480名	0.92倍	680名	597名	0.88倍
バスコース	0.55倍 ※	260名	150名	0.58倍	280名	135名	0.48倍	320名	190名	0.59倍
バスコース (文化遺産巡りコース)	0.58倍 ※	240名	142名	0.59倍	240名	144名	0.60倍	240名	135名	0.56倍
バスコース (常願寺川流域コース)	0.32倍 ※	120名	53名	0.44倍	160名	52名	0.33倍	120名	23名	0.19倍
合計	1.66倍	1,980名	3,575名	1.8倍	1,880名	2,992名	1.59倍	2,000名	3,188名	1.59倍

※先着順のため1.0を超えることはない

プロジェクト12 カルデラ体験学習会の旅行商品化について

<課題>

- バスコースを中心に定員に満たない状況が見受けられる。
⇒立山カルデラ砂防博物館のHP、体験学習会のパンフレット等での周知のみのため、限られた人にしか知られていないのではないか

<今後の方向性>

- 旅行会社を通じたパンフレットへの掲載など、より広くPRを行うことによって、より多くの方に立山カルデラの自然や歴史といった魅力を伝え、土砂災害防止に関する防災知識・理解を深めてもらうことにつなげる
- 今後は、コースや料金設定などについて関係者と検討を進める
(検討事項例)
 - ・課題の洗出し(雨天時の対応など)
 - ・運営体制 など
- まずは、現行の体験学習会の定員の枠内での実施を検討する

<スケジュール(案)>

- 8月～ 関係者で検討
- 9月 旅行会社の担当者を招いた視察見学会の実施
- ～11月 コース・料金設定等の決定
- 12月～ PR・情報発信